

♪(は) まっぴご! 倫理号です。昨夜山陰地方も大雨です。全国的な雨のよう
です。目配り、気配り、心配りしてあげたいものです。

幸せ運ぶアホ一鳥

今週の

2023. 7. 8~7. 14

倫理

7月のテーマ | 身にしみた教訓

1341号

思い出すだけで顔が赤くなってしまうたり、気持ち沈み込んでしまうような失敗の経験は、誰しも一つや二つあるでしょう。そうした失敗をした際に大切なことは、失敗を失敗で終わらせないことです。(あの失敗があったおかげで今の自分がある)と経験を通して自身の生活や心持ちを見直し、その後の成長につなげることです。

Uさんは、新入社員時代に、自身のミスから周囲に迷惑をかけた経験と、その後先輩から受けたアドバイスを今でも忘れずに胸に刻んでいます。

社内研修会で使用する資料の作成を任されたUさん。複数人の担当者が作成した資料を一つの冊子にまとめ、百名ほどの参加者分を用意することになりました。数十ページに及ぶ資料を人数分印刷し、研修会前日に会場で配布準備をしていた時、あるミスが発覚しました。それは、指示されていた掲載の順番をUさんが間違えて印刷してしまっていたのです。

Uさんは、研修全体に影響が出るようなミスではないと考え、(配布した後、口頭で修正箇所を伝えればいい)と軽く受け止めていました。

ところが、報告を受けた先輩から「今すぐすべての資料を修正して差し替えるように」と厳しく指示されたのです。

Uさんは慌てて修正作業に取り掛かりましたが、それ以外の準備作業は同僚の手を借りなくては間に合わず、多くの人の協力を得て、何とか研修会までに修正作業を終



ミスの原因を真摯に受け止め 仕事に取り組む姿勢を見直す

えることが出来ました。

研修会の終了後、先輩はUさんに次のようにアドバイスをしました。

「今回のミスは、確かに大きなミスではないかもしれないが、だからこそ気に留めておいてほしい。Uさんは真面目に働いているつもりかもしれないが、提出物の期限を守らなかつたり、報告を怠つたり、仕事に丁寧さが足りないことがある。そうした姿勢が癖になると、仕事への緊張感が薄れ、いずれ大きなミスを引き起こすことになる。仕事の面でも私生活の面でも小さなことほど、慎重に丁寧に取り組んでほしい」

Uさんはこの言葉を受け、自身の仕事ぶりを振り返りました。すると「このくらいでいい」「後でやればいい」と安易に仕事に取り組む姿勢があることに気が付きました。(これではいけない、悪い癖の一つひとつなくしていこう)と反省したUさん。その後、先輩のアドバイスを真摯に受け止め、仕事に取り組むようになったのです。

Uさんは、ミスがその時たまたま起こったわけではなく、仕事に取り組む姿勢に起因していることを学びました。先輩のアドバイスは、Uさん自身の働く姿勢そのものを正してくれたのです。

様々な失敗の原因は、一人ひとりの日頃の心持ちや生活習慣にあることが多いものです。ミスが起こった際には、その奥にある原因についても考えてみましょう。自身の成長のために学ばせていただいたと、前向きに受け止めたものです。